

善通寺の五重塔

WORKSHOP
てくてくワークショップ

2018年10月14日(日)

14:00-15:30(受付は13:30より)

会場：総本山善通寺 遍照閣 2F

定員：120名

講師

清水真一

徳島文理大学 教授
Shinichi Shimizu

参加費無料

ワークショップご参加登録はこちらから▼
<http://www.zentsuji-tekutoku.jp>

てくてくワークショップ “善通寺と本山寺の五重塔”

インドのストゥーパを起源とし中国で発達した仏塔建築は、仏教の伝来とともに我が国に伝えられ、伽藍の威容を象徴する高層建築として独自の発展を遂げていきます。構造的な堅固さと高さを追求した棟梁たちの知恵と工夫の歴史です。我が国の木造建築技術が最高潮に達した幕末・明治期に建立された善通寺と本山寺の五重塔は、仏塔建築の自律的な発展の到達点を示すものです。



徳島文理大学 教授

清水真一 Shinichi Shimizu

徳島文理大学文学部文化財学科教授。工学博士。奈良文化財研究所で遺跡の発掘調査や社寺建築等の調査に携わった後、文化庁で建造物の指定調査、修理指導、耐震対策などを担当。その後、東京芸術大学大学院（保存修復専攻）教授を経て、東京文化財研究所で文化遺産国際協力に従事。平成 23 年から現職。

善通寺てくてく文化遺産プロジェクトとは

真言宗の開祖・弘法大師空海御誕生の地である香川県善通寺市は、市名の由来となった総本山善通寺をはじめ、四国八十八ヶ所霊場第 72 番から 76 番までの五つの札所寺院を擁する巡礼の都です。五岳山の連なる肥沃な地に、清らかな湧水を湛えるここ善通寺市は、かつての門前町としての風情を今に伝え、また古くは岡古墳群などの遺跡を、そして近代では旧陸軍第11師団の建造物や善通寺駅舎等の産業遺産を残します。街をてくてく歩く、それだけで私たちは多彩な価値・時代性を持ったいくつもの文化遺産と出会う事ができます。歴史の歩みから学び、その歩みを止める事なく前進し、文化遺産を次の世代へ伝承していくこと。てくてく文化遺産はこれからの歩みを「てくてく」明るく踏み出すためのプロジェクトです。

会場について

総本山善通寺 遍照閣 2F

〒765-8506 香川県善通寺市善通寺町 3-3-1
Tel : 0877-62-0111(代) Fax : 0877-62-4302
<https://www.zentsuji.com>

公共交通機関でお越しの方○岡山方面より JR 岡山駅から瀬戸大橋線を経由し JR 善通寺駅までお越しください（約 60 分）○高松方面より JR 高松駅から予讃線・土讃線で JR 善通寺駅までお越しください（約 60 分）○JR 善通寺駅より徒歩約 20 分／タクシー約 3 分／市民バス（無料）を利用して約 8 分
※バス停「郷土館前」下車し徒歩 3 分

お車でお越しの方○岡山方面より 瀬戸中央自動車道 坂出インターより 約 20 分 ○徳島・愛媛方面より 四国横断自動車道 善通寺インターより 約 10 分
※駐車場は総本山善通寺の境内の西側に入りががあります

飛行機でお越しの方○高松空港より車で約 50 分※高松から JR 利用の場合は高松空港～JR 高松駅間はバス・タクシー利用で 30～40 分かかります



今回のワークショップについて

日程

2018 年 11 月 25 日(日)

14 : 00～15 : 30

テーマ

善通寺の建築

講師

多田善昭

多田善昭建築設計事務所 主宰